



アイダホからの学生訪問団受け入れ（7/29）▶

東海村の姉妹都市であるアイダホフォールズ市の学生訪問団（14名）の受け入れに対応、この日は東海南中での部活動体験でした。

吹奏楽部、柔道部、バスケ部、そして総合文化部の生徒たちと一緒に活動し、同年代の生徒たちが交流を深めました。



アイダホの学生が部活体験



戦没者を弔う献花台

出征時の旗



◀東海村戦没者追悼式（8/23）

今日の平和な暮らしは、多くの尊い命と尽力のうえにあることを改めて認識。

戦後80年の節目を迎え、私たち現役世代は実体験は無いものの、戦争の悲惨さや平和の大切さを、子どもたちに伝える努力が必要だと感じました。

▶阿漕ヶ浦決戦・水陣（9/7）

NPO法人・真砂山FUNクラブ主催の「水陣」というイベントに参加。ひとこと言えば、大人も子どもも遊べる水鉄砲を使ったサバイバルゲームです。

このように、阿漕ヶ浦公園ホッケー場は人口芝を備えた多目的利用が可能です。



大人も子どもも楽しむ

ロックオン！



編集後記

秋の深まりとともに、全国各地でクマによる人身被害のニュースが相次いでいる。

専門家によれば、里山の環境変化や気候変動による餌不足が背景にあると言われてる。人里へ降りてきたクマを単なる「危険」として排除するのではなく、何が原因で山から下りざるを得ない状況が生まれているのかを考えることも必要である。

本来、人と野生動物は山と里の距離感の中で共存してきたが、近年そのバランスが崩れていることは、私たちの生活圏の変化や温暖化の進行を映す鏡でもある。

未だ本県での被害報告は無いが、地域としてどう向き合うべきか、議論が必要な時期は迫っている。

（す）



日頃のご支援に感謝申し上げます。

暑くて長かった夏が過ぎ去り、日を追うごとに秋の深まりを感じるようになりました。

一方で、国会の情勢に目を向けると、先行きが見通しにくい状況ではありますが、着実に次なる決戦の時が近づきつつあります。

これまで、地域に根差した地道な活動と、国民民主党が掲げた政策実現に向けてブレることなく行動する「浅野さとし」衆議院議員。

再び国政の場で活躍していただくために、最大限の支援を行います。

越智辰哉



▲浅野さとし衆議院議員とガッツポーズ

NEWS ～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～

祝 村発足70周年の節目を迎えました

東海村では、本年3月31日に村発足70周年を迎えました。

去る7月6日には東海文化センターにおいて記念式典を開催し、本村の歴史を振り返りつつ先人の功績を讃えるとともに、若者が躍動する未来への希望が感じられる式典となりました。また、8月10日には久慈川河川敷において花火大会が開催され、約7,000発の花火が夜空を彩り、壮大で感動的なショーが繰り広げられました。

今年度は70周年の記念のメインイヤーであり、毎年恒例の行事であっても、それぞれ少しづつアレンジされた内容となっています。多くの村民の皆さまの記憶に残り、世代を超えて絆を深め本村の未来の姿を思い描ける機会になることを期待します。



▶東海文化センターの前に
議員全員が集合



◀約7,000発の花火が
打ち上がる

総合体育館の空調・換気 設置工事費を可決

令和7年10月定例会を9月24日から10月22日までの会期で開きました。

今議会では、令和6年度の決算審査ならびに総合体育館の空調・換気設備の設置工事に係る補正予算など23件の議案が提案されましたが、慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。



総合体育館のメインコート

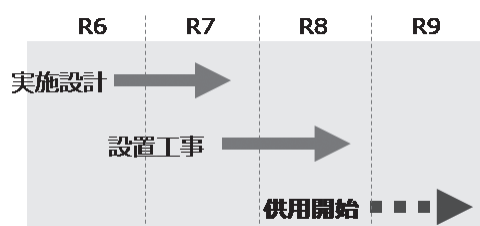
CHECK!

茨城県における年間の真夏日・猛暑日の日数は10年前の2倍超となっており、屋内競技についても活動中の熱中症を回避し、快適にスポーツを行うための環境の構築が必要となっています。

こうした状況から、総合体育館のメインコート、サブコート、柔剣道場、およびエントランスホールに空調設備を新設する方針を決定しました。昨年度から進めてきた実施設計が終了したことを受けて当初計画を前倒しし、令和8年12月末に工事を完了、**令和9年度から供用開始の工程が改めて示されました。**

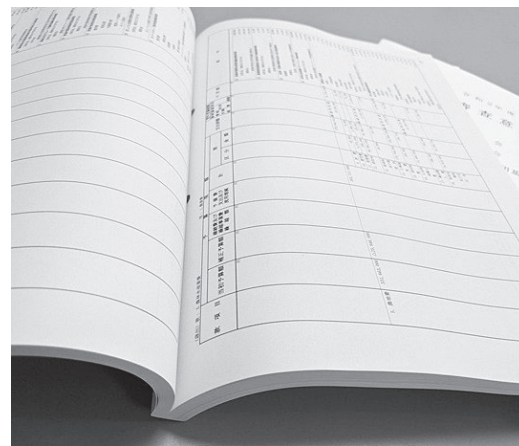
なお、コスト面や冷暖房効果、および利用方法などを総合的に比較検討し、メインコートには輻射パネル方式の空調設備を導入することとなります。

今後は、予定どおり機器が納入されて供用開始となるよう、事業の進捗を見守りたいと思います。



令和9年から供用開始予定

令和6年度決算審査を終えて



▲全248ページにわたる決算書

今議会では、令和6年度の決算について集中審査しました。決算とは、村民の皆さまが収めた税金を村がどのように使ったのか？ということ細かくチェックするものです。

決算内容を細かく見ていくと、例えば環境調査監視事業において、自動車の排出ガスを外部委託により毎年調査していますが、測定する地点が10か所と他自治体と比較しても明らかに過剰な調査が行われている点を指摘。次年度以降は、地点数を見直すこととなりました。

また、非常時に使用する避難器具を村松幼稚園に設置したにもかかわらず、未だこの器具を使用した訓練を実施していないことが判明。幼稚園の先生たちが、避難器具を実際に使用する機会を早期に設けることとなりました。

このように、それぞれの事業がより効果的な使い道となるよう、今後も厳しい目でチェックしていきます。

CHECK!

「自動車排出ガス調査委託料」



大気汚染の実態を調査

大気汚染防止法第20条に基づき、村内の主要な幹線道路における交通量および自動車排出ガスによる大気汚染の実態を調査する。（決算額495万円）

CHECK!

「村松幼稚園避難器具設置工事」



避難器具を設置

公立幼稚園の再編整備により村松幼稚園の児童数が増加したことを踏まえ、緊急時に使用する避難器具を設置する。（決算額129万円）

山田村長が4期目の当選を果たす

東海第二の再稼働は必要



街頭演説をする山田村長



▼勝利のバンザイ

去る9月7日投開票が行われた東海村長選挙において、現職の山田修村長が4期目の当選を果たしました。

「東海第二原子力発電所の再稼働は必要」というスタンスを明確にしたうえで挑んだ今回の選挙。前回と比較して投票率が約3%低下したものの、山田村長の得票率は73.2%であり、まさに圧勝でした。

選挙結果を細かく分析すると、再稼働へのスタンスを明確にした影響は極めて限定的であり、住民の皆さまは山田村長の発言を冷静に受け止めているものと考えます。

こども・若者 応援給付金 いよいよ10/31に給付



東海村では、子どもや若者の学びや挑戦の機会を支援し、将来の夢ややりたいことの実現を後押しするため、小学生から高校生までを対象に給付金（1人年額6万円）を支給します。

この事業は、政府が実施する給付金とは異なり、次年度以降も継続的に実施する恒久的な事業です。

習い事や部活動での物品購入など、ご家庭によって使途は様々かと思いますが、給付金の主旨をご理解頂き、ぜひ子どもや若者たちの成長の後押しとなるような活用方法をご検討下さい。